

# 支援センターだより

〒780-0972 高知市中万々78番地 高知県立高知ろう学校 相談支援部

電話088-823-1640 Fax088-823-1752

E-mail:ro-s@kochinet.ed.jp

平成26年度

12月号

11月中旬、体育館の北側の「タイワンフウ」がみごとに赤く染まり、秋を愛でさせてくれていたかと思うと、12月に入り一気に冷え込み、冬の到来を感じています。

2学期も多くの特別支援学級より教育実践交流事業の申し込みがあり、いろいろな取組をしました。難聴特別支援学級では週1時間以上の自立活動の時間を設けています。今年初めて難聴学級を担当された先生方も児童生徒のニーズを捉えていろいろ工夫されていましたので、実践内容等を紹介합니다。



## 特別支援学校・特別支援学級 教育実践交流事業

**小学校** 低学年の自立活動では、お世話をしてくれていることに気付かせるソーシャルスキルや言葉クイズづくり、漢字パズルで言葉のネットワークを広げる授業など、児童の実態に応じた実践がありました。また、難聴学級で教科学習をしている教室では、黒板の隅に新しく出た教科の言葉を書いて残したり、学習している内容を掲示する等、高知ろう学校で実践している視覚的な支援を取り入れている学校もあり、嬉しく思いました。

高学年では、耳の構造を学ぶことや、補聴器の部品の名称を覚え、管理の仕方を知るなど、自分の障害に関することを学習していました。また、友達が発表するときにFMマイクを差し出しやすくするために紙コップを使っている学級がありました。教師の声を補聴援助するだけでなく、集団の中で学習している意義を生かそうと工夫されているなど感心しました。



**中学校** 交流学級での授業は、教科の専門用語が増え、また、その用語の説明も難しい表現が多いと感じました。そこで、内容を理解するためには新しく出てくる言葉の予習が大切だと感じました。

また、言語そのものの基礎を培う小学生への言語指導から、「相手や場に応じて使う」「一部・見出しから推察する」「簡単にまとめる」「自分を振り返りコントロールする」「コミュニケーションをスムーズに進める」等の言葉を運用する力が課題ではないと感じました。

3学期は、識字力、語い力、文法力、読解力等の言葉に関する現状を把握するために検査を行う予定です。結果については、次年度の学習計画に活用してください。

### 3学期の行事予定（高知ろう学校の行事、相談支援部の行事）

- 1月19日（月） 高知ろう学校・難聴児通所による合同相談 第2回「やまもも相談会」
- 2月4日（水） 東部教室（教育相談）
- 2月20日（金） 「聴覚障害教育を考えるつどい」 詳細は後日ご案内します。

本年度は、教育実践交流事業の時に「自立活動充実事業」を実施し、外部専門家（言語聴覚士）に同行してもらい支援を行いました。